

< Vol.30 の記事 >

U-15 高円宮杯 代表決定リーグに進出！ エッ～！！ 日本代表と一緒に練習！？

【ジュニアユース 2次予選進出！】

5月31日の第1戦、ホーム駒場で草加Jrに大敗を喫し、その影響が心配されたJYですが、見事に気持ちを切り替え、残り3戦を見事な集中力で乗り切り、3勝1敗の勝点12。1位の草加Jrと同勝点のグループ2位（得失点差）で予選グループを見事に突破！

7月6日から始まる代表決定リーグに進出がまじりました。

	草	浦	越	川	工	得失	順
草加						28	1
浦和						-8	2
越谷						2	3
川越プ						-15	5
エステレーラ						-7	4

第1戦（5/31） vs 草加Jr

ホーム（？）駒場サブに草加Jrを迎えた初戦。草加には、春の大会時に0-3で負けておりその雪辱が期待されましたが、なんと0-11の大敗。。。。

GK松井君の出場停止と、白鳥君（修学旅行・・・）と2人の3年生を欠き、なんとなく気後れしてしまったことが影響したのか、前半から失点を重ねてしまいました。

第2戦（6/7） vs エステレーラ

新座・朝霞地域を中心に活動されているエステレーラとの対戦となった2戦目は、緑に囲まれ、周辺環境の素晴らしい日高総合Gで行われました。

2年生が主体の若いチームを相手にボール占有率では圧倒的に優るものの、得点が奪えずに時間ばかりが過ぎていきましたが、後半残り5分、渡辺君からの浮き球のスルーに反応した蓮見君がグループシュート！惜しくもバーに跳ね返ったところを、後半から右MFにあがっていた平野君がなぜか左サイドから押し込み、待望のゴールを奪いました。

このまま逃げ切り、1-0で終わりました。

得点力に課題が残る1戦となりました。

第3戦（6/14） vs 川越プレーザ

川越安比奈Gで行われた第3戦。またもや得点力不足に苦しめられます。この試合も、ボール占有率では優るものの、なかなか1点が奪えませんでした。前半終了間際にゴール前に飛び出した蓮見君が待望の自身今年度初得点をあげました。

その後、カウンターから抜け出されて危ない場面も何度か迎えましたが、落ち着いたの出たGK松井（一発退場の教訓か^^）の好セーブもあり、第2戦同様、1-0で試合を終えました。



ハーフタイムの青木コーチからの指示
 ~珍しく神妙に聞き入っているJYの面々~



公式戦今期初得点が決勝点となった蓮見君

第4戦(6/14) vs 越谷FC

前節で、越谷FCが草加Jrに勝利したことから、予選リーグ勝ち抜きの直接対決となった第4戦。春の大会でベスト16に勝ち進んでいる強豪との対戦となりました。

前2試合と異なり、一進一退の攻防が続きました。しかし、特に体力・走力で劣る1、2年生は、気力で勝負！ 気後れすることなく前へ前へと体を張ることで試合は混戦に・・・。

後半開始早々に三谷君からのクロスを受けた塩見君がドリブルから落ち着いてゴール隅に流し込み待望の先取点！

その後も混戦が続きましたが、お互いにチャンスを活かせず、またもや1-0で試合を終えました。

今大会を通じて、3年生の頼もしさはもちろんですが、1、2年生のがんばりが目立ちました。

明らかに体格の勝る相手チームの上級生相手に気後れすることなく果敢に立ち向かう頑張りや、チーム全体にも大きな勇気を与えてくれました。

人数は少なくとも、良いチームになってきたなあ～と・・・しみじみ感じさせてくれる大会となりました(初戦が終わったときは、真っ暗でしたが^^)。

【人工芝の普及がまたれます！】

高円宮初戦の駒場サブでは、台風が接近する中の大荒れの天候で行われました。他会場ではラインも全て流れてしまうような状況であったようですが、駒場サブの人工芝の効果は抜群。少々スリッピーなもの、用紙がびしょぬれになって困った大会本部以外は、特に問題なく4試合が行われました。

天然芝のグラウンドが十分に確保できない国内では、毎日でも使える人工芝のグラウンドはサッカー環境の充実には極めて大きい効果を持つと思われます。

FIFA(国際サッカー連盟)でも、近い将来に、人工芝での国際大会の開催を公認する方向にあるようです。

草と土の匂いのする天然芝が一番良いことは確かですが、高嶺の花で、誰もが使えないのでは公共施設としての意味がありません。

人工芝は1面2億円の工事費がかかるといわれていますが、天然芝の維持管理費(年間数百万～千万といわれています)や、利用効率(天然芝の場合、年間数十～百試合程度)を考えると、人工芝の採用がリーズナブルではないかと思われます。

【ユース日本代表大熊監督 駒場サブに来訪】

現ユース日本代表の監督の大熊清氏が、6/27の駒場サブのユース、JYの練習に来られました。

大熊監督は、東浦和中学・浦和南高校のご出身で、

実は、ユースの金子監督の東中での後輩・・・ご自宅もご近所で、今でもお付き合いがあるとのことでした。

ツーロン国際大会から帰国されたばかりでしたが、地元のクラブの状況を知りたいということでお見えになりました。

クラブの状況や練習内容について金子監督とお話された後、最後のJYのミニゲームに飛び入り参加していただきました。

終了時にはJYに励ましの言葉をいただき、一同大感激の時でした。

練習風景を見られる大熊監督



ゲームに参加していただきました



【水分補給をしっかりと！！】

夏の暑い時期をむかえます。試合、練習に限らず、運動前、運動中にも水分の補給を怠らないようにしてください。終わったあとに飲むだけでなく、運動前にとることで体温上昇を避けることもできます。また水分不足、ミネラル不足は足の痙攣などの要因ともなりますので、できればスポーツ飲料なども適切に摂取することが望めます。体調の自己管理を！！

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行していますが、外部へのPRにもどんどん利用してください。必要があれば部数をお送りします。事務局までご連絡ください。

HPでは、ニュースをカラー配信しています。